

# 平成19年度(第52期)事業報告

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

## 1. 会員の異動状況

会員の種類		本期末会員数	前期末会員数	差引増減
名誉会員		8	7	1
正会員		2512	2477	35
学生会員		152	123	29
維持会員	S 級	5	5	0
	A 級	12	12	0
	B 級	7	7	0
	C 級	13	11	2
	D 級	13	9	4
	E 級	109	112	3
	合計	159	156	3
公共会員		15	16	1

## 2. 事業の状況

### (1) 行事

行事名	講演件数	その他	期日	場所
トライボロジー会議 春東京 2007	172		H19.5.28-5.30	東京
トライボロジー会議 特別フォーラム	3		H19.5.29	東京
第38回トライボロジー入門講座	8		H19.6.28-6.29	東京
トライボロジー入門・九州講座	5		H19.9.25	佐賀
トライボロジー懇談会	9		H19.7-H20.3	東京・兵庫
トライボロジー問題解決講座	4	討論会	H19.7.13	東京
トライボロジー会議 秋佐賀 2007	263		H19.9.26-28	佐賀
トライボロジー会議 特別講演会他	8		H19.9.27	佐賀
第53回トライボロジー先端講座	5		H20.2.15	東京

### (2) 会誌

会誌は「トライボロジスト」を12回発行。ページ数本文803ページ(52巻4号～53巻3号)。特集号としては、「高性能基油の使用事例と研究動向」、「トライボ材料の環境適合性」、「新記録方式のトライボロジー」、「数値シミュレーションの新展開」、「水和潤滑とその展開」、「自動車用内燃機関の未来像とトライボロジー」、「楽しく学ぶトライボロジー」、「特殊環境下におけるトライボロジー」、「トライボロジーを支える可視化技術」、「環境対応型切削技術とトライボロジー」、「次世代アクチュエータとトライボロジー」を刊行した。

### (3) 研究会

研究会名	種別	回数	場所
摩擦の科学	第1種	2	東京、茨城
インターネット・トライボミュージアム	第1種	0	
トライボ遺産	第1種	2	東京
添加剤技術	第2種	3	東京
固体潤滑	第2種	4	東京、岐阜、神奈川
グリース	第2種	4	東京、富山
転がり軸受寿命	第2種	2	東京
エンジン潤滑	第3種	4	東京
転がり疲れ	第3種	2	東京、愛知
シール	第3種	3	東京、千葉
鉄道のトライボロジー	第3種	2	東京、神奈川
ファイル記憶のトライボロジー	第3種	2	神奈川
摩擦耗	第3種	1	東京
メンテナンス・トライボロジー	第3種	2	東京、大阪
塑性加工のトライボロジー	第3種	3	東京、愛知、神奈川
セラミックスのトライボロジー	第3種	0	
トライボケミストリー	第3種	2	茨城、京都
自動車のトライボロジー	第3種	4	愛知、神奈川
アルミニウムのトライボロジー	第3種	2	愛知
高分子材料のトライボロジー	第3種	3	東京
トライボ材料の環境適合性	第3種	2	東京、神奈川
機械技術の進展史	第3種	2	兵庫、岐阜
マイクロマシンのトライボロジー	第3種	1	岐阜
超を目指す軸受技術	第3種	3	大阪
スペーストライボロジー	第3種	1	東京
エコマシニングとトライボロジー	第3種	3	栃木、愛知
食品工場用潤滑油	第3種	5	東京
分子シミュレーションのトライボロジー	第3種	2	愛知、東京
変速機のトライボロジー	第3種	2	神奈川
日本海トライボロジー	地区	1	福井
北海道トライボロジー	地区	3	北海道

### (4) 主な取り組み

WTC 2009,京都に向けて、第1回組織委員会を開催した。トライボロジーの更なる発展を目指し、WTC への協力を要請した。ITC2011 広島開催を決定し、活動を開始した。

トライボロジー技術のプレゼンス向上と、後世に残すべき重要なトライボロジーに関する技術と製品を保存することを目的とした「摩擦博物館の設立」相談会を開催し、その結果として、トライボロジー遺産研究会(1種)とインターネット・トライボミュージアム研究会(1種)を立ち上げた。当面は、ネット博物館構築に向けて、活動していく予定である。

公益法人改革を目指した、公益法人3法が平成20年12月より施行となる。今年度から、必要となる会計制度への移行を行った。